

浜の活力再生プラン  
令和5～9年度  
(第2期)

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	柏崎地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 津畑 和義 (新潟漁業協同組合 柏崎支所 支部長)

再生委員会の構成員	新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、 柏崎鮮魚商協同組合、柏崎市
オブザーバー	新潟県漁業協同組合連合会、新潟県農林水産部水産課

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	新潟漁業協同組合柏崎支所管内 <b>【範囲】</b> 高浜地区、荒浜地区、番神地区、鯨波地区、米山地区 <b>【漁業種類】</b> 刺網漁業23人、吾智網漁業3人(1経営体)、一本釣漁業45人、 採貝・採藻漁業94人、かご漁業10人、たこ箱漁業4人 計179人(延べ人数) (組合員数 正組合員17人 准組合員100人 合計117人) ※令和3年12月現在(新潟漁業協同組合令和3年度業務報告書 参照)
-----------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>柏崎市は、日本海に面した新潟県のほぼ中央に位置し、首都圏東京へは約300km、関西圏大阪へは約520kmの距離にある。また、人口約8万人、面積約442km<sup>2</sup>を有し、その海岸線は総延長約43kmに及ぶ。</p> <p>漁業生産は、5トン未満の小型漁船を中心とした刺網、一本釣漁業のほか、吾智網漁業が営まれ、マダイ、ヒラメ、カレイ類、メバル等の漁獲が多い。また、夏期を中心にサザエ、モズク等の採貝・採藻漁業も盛んに行われている。近年の漁獲量は150～170トンで安定していたが、直近5か年では毎年150トンを下回り漁獲量の減少傾向が見られる。</p> <p>柏崎地区は漁協が経営する産地卸売市場がないため、消費地卸売市場である株式会社柏崎魚市場がその補完的役割を担っており、地元漁業者は基本的には、この株式会社柏崎魚市場へ全量を出荷している。当市場には、休閑期でも漁獲物を買上げてもらっているため、市場との共存を</p>
--

目指すことは地域にとって重要である。一方で、漁業収入の向上のためには、市場価値の低い魚種を漁業者自らが付加価値を付けたり、市場流通に支障のない範囲で新たな販路を確保することで、直接流通させる取組も今後は必要である。

当地区の組合員数は平成10年の120人（正61人 准59人）から平成28年には63人（正26人 准37人）と大きく減少したが、令和4年現在、126人（正17人 准109人）と、20年前とほぼ変わらない人数となっている。しかし、新規加入者のほとんどが夏期に採貝・採藻漁業を営む准組合員であり、正組合員数は3分の1に減少した。また、高齢化と担い手不足が進んでいることから、漁家子弟を中心に担い手確保へ取り組み、世代交代を進める必要がある。

魚食普及と地場産水産物消費拡大のため、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合、柏崎市で柏崎市おさかな普及協議会を組織し魚食普及を目的としたおさかな料理教室やアラ等の地場産水産物の認知度向上や消費拡大を目的としたフェア等に取り組んでいる。

また、水産資源の保護培養の取組として、新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市が協力して、ヒラメ種苗、アワビ種苗の放流を毎年実施している。

## (2) その他の関連する現状等

柏崎の中でも、穏やかな夏の日本海を背に風光明媚な漁村が広がる笠島地区では、現在でも代々受け継がれてきた海士文化が残り、採藻漁業の解禁とともに海士が前浜へと繰り出していく。また、豊かな岩礁域に恵まれ、ワカメ、モズク、エゴ、イワノリなどの上質な海藻類が多く漁獲されることから、笠島地区特有の海士文化、食文化が現在も守られている。

## 3 活性化の取組方針

### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

### (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

本プランに基づき取組を実施することで、漁業所得の10%向上と地域の活性化を図る。

#### 【漁業収入向上への取組】

##### ① 鮮度保持と付加価値向上の取組

・アラとヒラメの『新潟越後神経締め』に引き続き取り組み、魚価の向上を図る。

##### ② 消費拡大の取組

・新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、柏崎港にて直売を継続実施する。また、ミシマオコゼや

<p>エソ類、傷物のカニといった未利用魚を直売する。</p> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規漁業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船リース事業の活用による世代交代を推進する。</li> <li>・柏崎地域漁業担い手対策研究会は、新規漁業者を地域の担い手とするために漁具の使い方といった技術的指導を行う。</li> <li>・小中学生向けの水産教室や一般希望者向けの漁業体験研修の受入により、漁業に触れてもらう機会を増やす。</li> </ul> <p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒラメとアワビの種苗放流による水産資源の維持増大に向けた取り組みを継続する。</li> </ul> <p>【漁業コスト削減のための取組】</p> <p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p>
--

(3) 資源管理に係る措置

<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理計画の遵守。</li> <li>・小型魚の再放流、目合制限の遵守・徹底。</li> <li>・県漁業調整規則、委員会指示等による禁止区域・操業期間制限、体長制限。</li> <li>・漁業権行使規則遵守の徹底。</li> <li>・漁業種類による操業時間制限等の遵守。</li> <li>・密漁防止等漁場監視の実施及び看板等の設置。</li> </ul> <p>(主な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイ 6月25日～7月10日まで禁漁、4cm以下は再放流</li> <li>・甲イカ 1ヶ統(15尋間隔で15個以内)、3月15日から5月31日まで水深20尋以内</li> </ul>
---

(4) 具体的な取組内容(毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目(令和5年度) 所得向上(基準年比) 5.6%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>取組内容は進捗状況や実施成果を踏まえて必要により見直すこととする。</p> <p>① 鮮度保持と付加価値向上の取組</p> <p>柏崎では、高級魚であるアラが昔から漁獲されている。市内においては知名度が低いものの、市外や県外においては特に高値で取引されている。現在、研究会を中心とする漁業者6名が、神経締め処理をするなど一定の基準を満たしたアラを『柏崎のアラ』として出荷しており、付加価値化による魚価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、ヒラメとアラの神経締め比率向上に取り組む。</li> <li>・柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合は、市内飲食店にPRツール(のぼり、チラシなど)を配布すること</li> </ul>
---------------------	--

	<p>でアラの需要を喚起する企画を実施する。</p> <p>② 消費拡大の取組</p> <p>新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、第1期浜プランの取組である地場産漁獲物の一部直売を柏崎港にて継続するとともに、直売機会を増やす。また、ミシマオコゼやエソ類、傷物のカニといった未利用魚の販売など内容を充実させる。規模の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、かしわざき港おさかな朝市を年6回開催する。また、市内イベント『秋の収穫祭』に出店し直売を行う。</li> </ul> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏崎地域漁業担い手対策研究会を定期的に開催し、新規就業希望者向けの情報（船小屋の利用状況、廃船予定の漁船など）を共有する。</li> <li>新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市は、小中学生を対象とした水産教室を開催する。</li> </ul> <p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、漁業者は、ヒラメとアワビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>漁業者は、出荷規格に満たないサイズのサザエやバイを採取しない。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者は、船底清掃や減速航行により、燃油使用量の削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>経営体育成総合支援事業（国）</p> <p>漁業就業者支援事業（市）</p>

2年目（令和6年度） 所得向上（基準年比） 6.4 %

漁業収入向上のための取組	<p>① 鮮度保持と付加価値向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者は、ヒラメとアラの神経締め比率向上に取り組む。</li> <li>柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合は、市内飲食店にPRツール（のぼり、チラシなど）を配布することでアラの需要を喚起する企画を継続する。</li> </ul> <p>② 消費拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、かしわざき港おさかな朝市の年6回開催する。また、市内イベント『秋の収穫祭』に出店し直売を行う。</li> </ul> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏崎地域漁業担い手対策研究会を定期的に開催し、新規就業希望者向けの情報（船小屋の利用状況、廃船予定の漁船など）を共有する。</li> <li>新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市は、小中学生を対象とした水産教室を開催する。</li> </ul>
--------------	--

	<p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、漁業者は、ヒラメとアワビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・ 漁業者は、出荷規格に満たないサイズのサザエやバイを採取しない。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業者は、船底清掃や減速航行により、燃油使用量の削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>経営体育成総合支援事業（国） 漁業就業者支援事業（市）</p>

3年目（令和7年度） 所得向上（基準年比） 7.3 %

漁業収入向上のための取組	<p>① 鮮度保持と付加価値向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業者は、ヒラメとアラの神経締め比率向上に取り組む。</li> <li>・ 柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合は、市内飲食店に PR ツール（のぼり、チラシなど）を配布することでアラの需要を喚起する企画を継続する。</li> </ul> <p>② 消費拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、かしわざき港おさかな朝市を年6回開催する。また、市内イベント『秋の収穫祭』に出店し直売を行う。</li> </ul> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規漁業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏崎地域漁業担い手対策研究会を定期的に開催し、新規就業希望者向けの情報（船小屋の利用状況、廃船予定の漁船など）を共有する。</li> <li>・ 新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市は、小中学生を対象とした水産教室を開催する。</li> <li>・ 新潟漁業協同組合柏崎支所は、漁業体験研修を積極的に受け入れる。</li> </ul> <p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、漁業者は、ヒラメとアワビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・ 漁業者は、出荷規格に満たないサイズのサザエやバイを採取しない。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業者は、船底清掃や減速航行により、燃油使用量の削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>経営体育成総合支援事業（国） 漁業就業者支援事業（市）</p>

4年目（令和8年度） 所得向上（基準年比） 8.1 %

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>① 鮮度保持と付加価値向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、ヒラメとアラの神経締め比率向上に取り組む。</li> <li>・柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合は、市内飲食店に PR ツール（のぼり、チラシなど）を配布することでアラの需要を喚起する企画を継続する。</li> </ul> <p>② 消費拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、かしわざき港おさかな朝市を年6回開催する。また、市内イベント『秋の収穫祭』に出店し直売を行う。</li> </ul> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎地域漁業担い手対策研究会を定期的で開催し、新規就業希望者向けの情報（船小屋の利用状況、廃船予定の漁船など）を共有する。</li> <li>・新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市は、小中学生を対象とした水産教室を開催する。</li> </ul> <p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、漁業者は、ヒラメとアワビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・漁業者は、出荷規格に満たないサイズのサザエやバイを採取しない。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底清掃や減速航行により、燃油使用量の削減に取り組む。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>経営体育成総合支援事業（国） 漁業就業者支援事業（市）</p>

5年目（令和9年度） 所得向上（基準年比） 10.2 %

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>① 鮮度保持と付加価値向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、ヒラメとアラの神経締め比率向上に取り組む。</li> <li>・柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、株式会社柏崎魚市場、柏崎鮮魚商協同組合は、市内飲食店に PR ツール（のぼり、チラシなど）を配布することでヒラメとアラの需要を喚起する企画を継続する。</li> </ul> <p>② 消費拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟漁業協同組合柏崎支所研究会は、かしわざき港おさかな朝市を年6回開催する。また、市内イベント『秋の収穫祭』に出店し直売を行う。</li> </ul> <p>③ 地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎地域漁業担い手対策研究会を定期的で開催し、新規就業希望者向けの情報（船小屋の利用状況、廃船予定の漁船など）を共有する。</li> <li>・新潟漁業協同組合柏崎支所と柏崎市は、小中学生を対象とした水産教室を開催する。</li> </ul>
---------------------	---

	<p>④ 水産資源の回復と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所、漁業者は、ヒラメとアワビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・ 漁業者は、出荷規格に満たないサイズのサザエやバイを採取しない。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 船底清掃や減速航行による経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業者は、船底清掃や減速航行により、燃油使用量の削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>経営体育成総合支援事業（国） 漁業就業者支援事業（市）</p>

(5) 関係機関との連携

<p>●日本エヌ・ユー・エス株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、『柏崎のアラ』G I 登録に向けた取組は、日本エヌ・ユー・エス株式会社、柏崎市、新潟漁業協同組合柏崎支所の3者を中心に取り組んでいる。その中で、日本エヌ・ユー・エス株式会社は、データ分析やG I サポートデスクとの交渉など、主導的な役割を果たしている。</li> <li>・ インターネット販売サイト『じゃなす.COM』にて、漁獲物の販売を行っている。</li> </ul> <p>●公益財団法人 海洋生物環境研究所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カヤカリ（ヒゲソリダイ）の陸上養殖の研究について、公益財団法人海洋生物環境研究所、東京電力ホールディングス株式会社と共同で取り組んでいる。柏崎市からも飼料や水槽の現物支給やイベント開催など、全面的な協力を得ている。養殖したカヤカリ（ヒゲソリダイ）の旬であり、荒天により出漁が制限される冬に出荷することができれば、安定的な漁業収入を得ることにつながるため、事業化を含めた検討が進められている。</li> <li>・ バイ貝の産卵床設置など、水産資源の維持増大に関する取り組みについて指導を受けている。また、漁業者が漁獲した地場産水産物を研究用に提供している。</li> </ul>
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

アラの平均単価	基準年	令和3年度： 2,620.0円
	目標年	令和9年度： 3065.0円

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

目標年の平均単価については、神経締めアラの平均価格を株式会社柏崎魚市場競り人から聞き取り、その金額を参考に決定した。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
経営体育成総合支援事業（国）	地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備
漁業就業者支援事業（市）	地域内の担い手確保に向けた、新規就業者の受入体制整備